

【今回のテーマ】

クイズに答えて世界の現状を知ろう!

地球は思っているよりもひどい状態です。この現実から目をそらさないことがよりよい世界をつくる出発点です。



Q1. 1日200円未満で暮らす人は世界に何人いる?

- ① 6300万人 (日本の人口の約半分) ② 1億2500万人 (日本の人口と同じくらい) ③ 3億5550万人 (日本の人口の約3倍)

世界には毎日の衣食住に困るほど貧しい生活をしている人がたくさんいます。極度の貧困状態（1日200円未満）で暮らしている人は、世界の約10人に1人。

食べ物や飲み物だけでも大変ですが、電気・ガス・水道などに必要なお金もこれではまかなわなければならないのです。

お金がないと、食べ物や安全な水はもちろん、衛生的な家に住むこともできません。病気になっても病院にもいきません。もちろん十分な教育も受けられません。(答えは③)

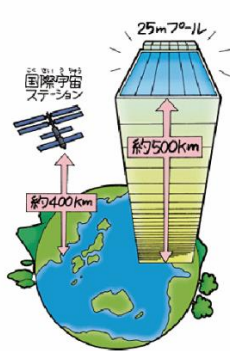


関連するSDGsの目標



Q2. 日本で1年に捨てられる食べ物の量はプール何個分?

- ① 約200個分 ② 約2000個分 ③ 約2万個分



世界では9人に一人が栄養不足と言われていますが、その一方でつくられた食料のうち、3分の1にあたる約1.3億トンが毎年捨てられています。また食べられるのに、捨てられてしまうこうした食べ物のことを「食品ロス」といいます。

日本の食品ロスは1年間に約612万トン。これは25メートルプール約20000個分。一人あたり約4.8キログラムの食料を捨てていることになるのです。(答えは③)

関連するSDGsの目標



Q3. 家にトイレがなくて外で用を足す人は世界に何人いる?

- ① 0人 ② 2億5000万人 (日本の人口の約2倍) ③ 6億7300万人 (日本の人口の約5.4倍)



↑ 途上国で見られるトイレ
排泄物は直接川や沼に垂れ流しになります。

約20億人が衛生的なトイレを使えず、そのうちの約6億7300万人が、いまだに屋外で排泄をしています。

排泄物の中には病気の原因になる最近がたくさん含まれています。トイレがなければ、細菌が体内に入ると、下痢になる可能性が高くなります。

世界には、トイレ以外での排泄が原因で下痢になり、1日800人以上も命を落としています。世界の5歳未満のこどもの死因の8%が下痢ということになります。(答えは③)

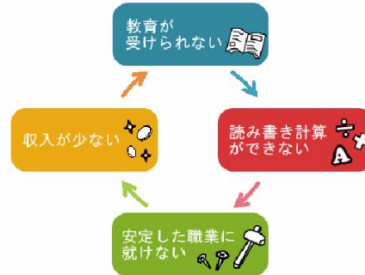
関連するSDGsの目標



Q3. 世界で小学校に通えない子どもはどれくらいいる?

- ① 12人に1人 ② 120人に1人 ③ 1200人に1人

世界で小学校に通えていない子どもは約5900万人にのぼります。(答えは①) 教育が受けられないと、文字の読み書きや計算ができず、必要な知識を得られないまま大人になるかもしれません。収入の安定した仕事につけず、貧しいまま暮らさなければならなくなり、社会から取り残されてしまうこともあるでしょう。教育は、子どもたちが貧困から抜け出して、未来を切り開くための力なのです。



関連するSDGsの目標



SDGsにとりくむのは誰でしょう?
それは、国や自治体、会社や団体、そして「私たち」です。

地球規模の課題は一人では解決できませんが、みんなの行動が世界を変え、未来を変える第一歩になります。

SDGsに役立つことをしたいと思ったら何から始めればいいのでしょうか。
その答えは「毎日の生活の中」にあります。

安全な水が手に入れない人たちのことを考えてシャワーを浴びるときはこまめにお湯を止めて節水する。プラスチックのごみで海が汚れているのを解決したいなら買い物のときにマイバッグを持って行ってレジ袋を断る。まだ食べられる食べ物がたくさん捨てられる事実を知ったなら学校の給食を残さずに食べる。

こうした「小さなとりくみ」が積み重なって大きな変化をもたらすのです!